

3月中旬に開催されたコーチング練習会アドバンス、3月下旬のフィードバック会と、自分の立ち位置と合宿までに達成したい未来との差分の大きさに呆然としたような思いがありました。

自分でもどう取り組んでいくかを考えてはいたのですが、思考が行き詰った感覚があり、また、新年度、会社の体制が変わっていく中でどう生きていくのかにも迷走しているような感覚があり、個別フォローをお願いしました。

今の部署では、業務の受注や顧客の問い合わせなども資格がないと役に立てないという現実があり、このままでは職場での立ち位置も危ういと感じ、業務に必要な資格を取りに行こうと思った部分がありました。

陽子さんからは資格取得目標のループにはまってしまいうことも含めて「資格が目的」になることへの懸念が伝えられました。

他人が定めたゴールを追いかけることにはまり込む危険性について伝えてくれたのだと思います。

異動前の部署も今の部署も、根本は同じ構造のはずなのに、なかなか上手いいかない思いがあって、その中に自分が求められる水準に達していないのではないかという恐れもありました。

異動直前は、そのエリアにかなり長く居たこともあって、相手の手の内も分かり、顧客にも必要とされていることが分かりながら仕事できていました。

しかし、陽子さんから伝えられたように、地域や支社の構造として個人の出来る努力を越えた部分があるのなら、そこを埋め合わせるのではなく、合った環境に移るであったり、

合った環境を作っていくというやり方もあるのだと思いました。

ひとまず1年という区切りを付けて試験勉強はしようと思いますが、その分、研究する時間を削っているというリスクや資格試験の位置づけを忘れずに取り組もうと思います。

また、中学生となった子供が、部活に対してめんどくさそうな発言をした時に、咄嗟に部活見学や加入を強めに薦めたことについて、これは正しかったのだろうかという迷いが湧いたことも話しました。

陽子さんの中高生時代の部活動の話について伺いました。陽子さんが部活動の中で沢山感じた理不尽について、その年齢でしか出来ない、最初の挫折感の経験だと聞かせて頂き、自分の中高生時代の楽しかった思い出も(出来れば写真を見つけ出して)伝え、前向きに中学生ならではの経験を積んでほしいと思いました。

自分が伝えることに自信がなくなることもあるのですが、今後もそんな時に、陽子さんや10プロメンバーの意見も聞いていきたいと思いました。

合宿で私が考えていた計画についても、今後なりたい自分たちの姿や自分たちの置かれた現状に合ったやり方へのヒントを頂きました。

合宿まで自力では足りない部分について、これからも力をお借りしたいと思っています。今回もありがとうございました。

(A.S 40代女性 大阪府)